

文部科学省「職業実践力育成プログラム（B P）」は、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定し、受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的としています。



社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座は、

- 1) アセットマネジメント基礎科目：インフラのアセットマネジメントを効率的に行うための知識を習得するための座学
  - 2) 社会基盤設計実務演習：ライフサイクルコストの最小化、品質管理や工程管理などの実務的な知識を習得するための演習
  - 3) 点検・維持管理実習：フィールドで維持管理や防災業務の能力を向上させる実習
- で構成されています。実務に即した講義の実現と最新技術の講義への活用を図るために、現職の大学教員だけでなく、岐阜県、国土交通省、土木研究所および関連企業をはじめとした全国の一線級の講師により、系統立った多彩な講義を展開しています。

また、ME養成講座は平成 25 年度より岐阜大学大学院の履修証明プログラムとして、社会人の学び直しの間として進められています。

ME養成講座で学んだ技術者たちは、建設関連業の技術力向上から、地域の安全安心と活性化に寄与します。

平成27年11月30日

文部科学大臣殿

岐阜大学長  
森 脇 久 隆



下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	岐阜 大学		②所在地:	岐阜市柳戸1番1			
③課程名:	社会基盤メンテナンスエキスパート養成プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H25.6.1		
⑥責任者:	学長 森脇 久隆	⑦定員:	20人	⑧期間:	約1ヶ月		
⑨申請する課程の目的・概要:	管理(行政)側または建設関連業(民間)側の組織に所属する技術者が、一緒に所定の科目を履修することにより、新たな社会資本の整備、既存社会資本の維持管理・補修の計画・設計・実施技術を習得し、共通の高度な知識を持った総合技術者として、地域の活性化に貢献する人材を養成する。						
⑩4テーマへの該当の有無	「女性活躍」「中小企業活性化」「地方創生(地域活性化)」	⑪履修資格:	管理(行政)側または建設関連業(民間)側の組織に所属する技術者で、所定の実務経験を有する者 岐阜大学大学院工学研究科博士前期課程の入学資格に準ずる者				
⑫対象とする職業の種類:	官公庁等土木技術者、建設業界の民間技術者						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 社会基盤施設の点検・診断・補修・維持管理やアセットマネジメントに関する専門知識と最新技術動向ならびに点検診断技術		(得られる能力) 多種多様な自然・社会条件下にある複数の社会基盤施設を守るインフラメンテナンス技術者としてのアセットマネジメント能力				
⑭教育課程:	「橋梁の設計・トンネル」、「橋梁の維持管理」、「地盤と斜面」、「土構造物と舗装・水道・河川構造物」、「インフラマネジメント」の5科目(120時間)から成り、それぞれの科目は、「アセットマネジメント基礎」、「社会基盤設計実務」、「点検・施工・維持管理実習」により構成され、座学、演習、フィールド実習などがバランスよく配置され、受講者にアセットマネジメント能力を修得させる。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	120時間の講義を全て欠席することなく受講 提出されたレポートを担当講師が評価し、一定基準を満たすこと						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書 社会基盤メンテナンスエキスパート(履修証明プログラムを修了した者に対して実施する試験に合格した者に付与)						
⑰総授業時数:	120 時間	⑱要件該当授業時数:	93時間	該当要件	1,2,3,4	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	78%
⑳成績評価の方法:	出席状況及びレポート評価 レポートは各講義担当講師が評価し、一定基準を満たすこと						
㉑自己点検・評価の方法:	企業等との連携組織である「社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット運営協議会」で、本課程の内容を検証している。 本課程プログラムと同趣旨の技術者育成プログラムを展開する他4大学と相互連携し、育成すべき技術者の技術と知識レベルを設計し、それに対応するためのカリキュラム要素シート表を作成して、教育課程の検証を行っている。その結果をホームページ上で公表するとともに、次年度以降への教育課程改良へ繋げている。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	課程の修了者に試験を実施し、合格した者に対して、「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)」の資格を授与している。また、課程修了者の修了後における勤務先での評価等を勤務先の管理職へヒアリング調査している。調査結果から、課程内容の変更などの要望を地方公共団体、建設業界と設置する協議会へ報告し、課程内容の修正・改良に反映する。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) ・本課程と同趣旨の技術者育成プログラムを展開する他4大学と相互連携し、連携会議を設置、そこで出された意見を実施に反映している。 ・地方公共団体、建設業界と協議会を設置、そこで出された意見を実施に反映している。 (自己点検・評価) ・本課程と同趣旨の技術者育成プログラムを展開する他4大学と相互連携し、連携会議を設置、そこで出された意見を実施に反映している。 ・地方公共団体、建設業界と協議会を設置、そこで出された意見を実施に反映している。						
㉔社会人の受講しやすい工夫:	約1ヶ月間の集中開講、学内外宿泊施設の斡旋および提供 受講者勤務先からの受講環境を確保する対応計画書の提出(受講期間中の就労免除の確約と体制構築) 受講者ニーズの調査と反映(課程の改良) 講座の社会的評価の向上(岐阜県公認/県発注工事・委託業務の資格要件への採用 など)						
㉕ホームページ:	(URL) <a href="http://www1.gifu-u.ac.jp/~ciam/">http://www1.gifu-u.ac.jp/~ciam/</a>						

事務担当者名:	鷲見 浩二	所属部署:	学務部教務課
連絡先:	(電話番号)058-293-2133 (E-mail) gjea01002@jim.gifu-u.ac.jp		

\*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	岐阜大学
課程名:	社会基盤メンテナンスエキスパート養成プログラム

要件該当授業時数:	93時間
要件該当授業時数/総授業時数:	78%

分類	科目名	配当年次	授業時数・単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	橋梁の設計・トンネル	—	18 /25.5時間	○	○	○	○	小林孝一 石川孝 他	岐阜大学工学部 株式会社IHI
必修	橋梁の維持管理	—	21 /24時間	○	○	○	○	國枝 稔 羽田野英明 他	岐阜大学工学部 中日本建設コンサルタント 株式会社 他
必修	地盤と斜面	—	15 /24時間	○	○	○	○	大谷 具幸 上野将司 他	岐阜大学工学部 応用地質株式会社 他
必修	土構造物と舗装・水道・ 河川構造物	—	21 /22.5時間	○	○	○	○	神谷浩二 右城 猛 他	岐阜大学工学部 株式会社第一コンサルタンツ 他
必修	インフラマネジメント	—	18 /24時間		○	○		倉内文孝 加藤義人 他	岐阜大学工学部 三菱UFJリサーチ&コンサル ティング株式会社 他
合計:	5 科目							93/120	時間

\* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

\* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を入れた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。